

夢「八十歳」

5月23日冒険家、三浦雄一郎さん（80歳）が、エベレスト登頂に成功しました。史上最高齢記録です。

「夢を持ち続ける姿は我々のががみ」と大勢の人は思う。三浦さんは「70歳や80歳で自分を諦める人が多すぎる。まだまだ80歳がスタートだと思えば、人生が面白くなるんじゃないか」と言っています。

今、農業・農村地域は、後継者、担い手不足といわれ深刻化しています。担い手への農地集積率を50%から80%に引き上げるといいますが、遅々として進みません。大規模農家頑張っていますが、次の世代については？大企業が農地を取得して農業に参入するのか？TPPはどのようなようになるのか？大変な問題が山積みです。

地域、集落、多くの仲間、家族に支えてもらいながら、弱った頭脳、心、腰、足を鍛え直し、生きている限りは目標値を高く、達成する意欲をもって、若手の邪魔にならない担い手として

夢か現実か、あと10年達成もしないうちから「温泉にのんびり浸かって、日本酒をゆっくり飲みたい」だけでは……。

（高澤委員）

農協選任委員が交代しました

嶋津 和文 委員

（平成25年7月1日から）

担当地区

紫雲寺

（小川、宮吉、真野代、長島、中野、長者館、真野原外）

お世話になりました

八百坂 勝祐さん

菅谷



つぶやき

心の友

「さあ、行くぜ〜」かあちゃんを留守番に、この日のために、毎月五百円ずつ定額預金をして何十年。42歳の厄払い旅行に続き還暦旅行は、一路北海道の旅でした。

時間にたっぷり余裕のある仲間は、フェリーでゆったり18時間の長旅（ただし、朝三時半にお起こされました）、そでない仲間は、一時間余りの飛行機で新千歳空港着。

合流して「いざ出発」、初日は、宴会とカラオケでの大騒ぎ、二日はビール園での生ビールにバイキング料理の食べ放題でした。

そして、ちよこつと夜の散策。札幌は昔のイメージと違い大都会、若者たちが夜遅くまで徘徊し、じいさん、ばあさんに、中国系の旅行者が大きな声で集団行動していました。

豊かな自然と広大な大地をもった北海道は、地球温暖化で美味しいお米が大量に生産出来るようになり、ご飯もおいしくいただきました。

最終日、「白い恋人」と「ホッケ」を大量に買い込み、飛行機で帰路、そして「はばきぬき」をして我が家へ帰宅しました。

我らは、中学校の同級生で、地元で生まれ育ち、仕事も色々です。外見は違っていましたけれど仲間は本当に良いものだと思えます。

男性の平均寿命は、79.4歳であり、古希・傘寿と続くけれど、いつまでこのメンバーでいられるかわかりません。でも、「心の友」がいるからこそ今があり、この先があるのだと私は思う。

（石井委員）

